

高齢社会を迎えた日本、がんや認知症を患っても、たとえ一人っきりでも、家で死にたい……。今の日本で、それは可能でしょうか。

大好評の本、『小笠原先生、ひとりで家で死ねますか？』が、その答えを示唆しています。

第14回年次大会では、著者のお二人・「おひとりさま」の勇気と覚悟のメッセージを発信する社会学者・上野千鶴子さんと、在宅での看取りを実践（95%）されてきた医師、僧侶でもある小笠原文雄さんをお迎えし、皆様とともに考えてまいります。

日時：2014年10月4日（土）14:00-17:30

場所：九州大学西新プラザ 福岡市早良区西新 2-16-23 tel 092-831-8104  
福岡市地下鉄「西新駅」下車 7 番出口 徒歩 10 分

参加費：2500 円〈前売券 2000 円〉

〈基調講演1〉

## 「ひとりで家で死ねますか？」

講師

上野 千鶴子



〈基調講演2〉

## 希望死・満足死・納得死

講師

小笠原 文雄

〈鼎談〉

## 在宅ひとり死の条件

上野千鶴子・小笠原文雄・二ノ坂保喜

ひとりで家で死ねますか？

申込み 下記の郵便振替口座にお振込の上、ご住所・氏名・所属を裏面に記入して、ファックスして下さい。あるいは、下記アドレスの e-mail でお申込み下さい。なお、福岡緩和ケア研究会のホームページから申込用紙をダウンロードしていただけます。

福岡緩和ケア研究会 口座番号 01720-0-135465

福岡緩和ケア研究会事務局 図書出版木星舎  FAX 092-833-7141

e-mail info@mokuseisya.com

なお、会場定員の都合上、定員になりましたら、勝手ながら締め切らせていただきます。

主催

福岡緩和ケア研究会



# FAX 092-833-7141

福岡緩和ケア研究会事務局 図書出版木星舎 行き

## 福岡緩和ケア研究会第14回年次大会「ひとりで家で死ねますか？」申込書

フリガナ	〒	所 属
氏 名	住 所	TEL / FAX
所 属		

\* 申込方法：上記にご記入の上、FAX、e-mailで申し込むか、または郵送してください。



### 上野千鶴子（うえのちづこ）

1948年、富山県生まれ。社会学者。京都大学大学院社会学博士課程修了、平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経て、1993年東京大学文学部助教授（社会学）。現在、立命館大学大学院先端総合学術研究所特別招聘教授。東京大学名誉教授。認定NPO法人NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長。主な著書『ナショナリズムとジェンダー』、『上野千鶴子が文学を社会学する』『生き延びるための思想』、『おひとりさまの老後』、『老いる準備』、『女ざらい 日本のミソジニー』、『ケアの社会学』、『上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとりで家で死ねますか』他多数。

### 小笠原文雄（おがさわらぶんゆう）

1948年、岐阜県生まれ。医学博士。日本在宅ホスピス協会会長。岐阜大学医学部客員臨床准教授。1973年、名古屋大学医学部卒業。名古屋大学第二内科（循環器グループ）を経て、1989年、小笠原内科を開院。1999年より医療法人聖徳会小笠原内科理事長となり、2012年、厚生労働省委託事業の在宅医療連携拠点事業所を受託し、現在に至る。2014年、「緩和ケア推進検討会」構成員。共著に『上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとりで家で死ねますか』がある。



### 二ノ坂保喜（にのさかやすよし）

1950年、長崎県生まれ。長崎大学医学部卒業後、長崎大学第一外科研修。その後、救急医療、地域医療の現場で経験を積み、福岡市・青洲会病院、川浪病院等勤務を経て、1996年、にのさかクリニックを開院。在宅医としてホスピスに取り組む。2011年、地域生活ケアセンター「小さな種」を開設。福岡緩和ケア研究会世話人。「パンゲラデシュと手をつなぐ会」会長。著書に『在宅ホスピスのススメ』（共著）、『在宅ホスピス物語』、『病院で死ぬのはもったいない』等。

■ 申込先 福岡緩和ケア研究会事務局 図書出版木星舎

FAX 092-833-7141 TEL 092-833-7140 : info@mokuseisysha.com

〒814-0002 福岡市早良区西新7丁目1-58-207